

キャラクター名
教祖神

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ウロボロス		ワークス	レネグイドビーイングC	カヴァー	
	オプション		年齢	茶年	性別	茶
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率	300	%
出自		経験		邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	696
肉体	1	0	0		5	6	行動値	40
感覚	1	0	0		5	6	(非装備時)	40
精神	3	1	0	5	5	14	戦闘移動	45
社会	3	0	0		5	8	全力移動	90

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	21		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:抹茶免許			芸術:抹茶茶道	2		知識:抹茶学			情報:抹茶情報	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	R C	42r+35		18		素+ボ+技=104
	R C	56r+35		180		素+ボ+技+RB=118
	R C	37r+55		198		素+ボ+技+背徳=132
	R C	51r+55				素+ボ+技+RB+背徳=146

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費	消費
Eロイス「超越活性」	P	N		
Eロイス「超越活性」	P	N		
Eロイス「超越活性」	P	N		
Eロイス「超越活性」	P	N		
Eロイス「ありえざる存在」	P	N		
Eロイス「ありえざる存在」	P	N		
Eロイス「暴食の胃袋」	P	N		

最大財産P: 16 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズ	1							
効果: 人型								
レネグイドライフ	5		常時	至近	自身			
効果: HP+「LV*100」侵蝕率のLV-1								
生命増強	5		常時					
効果: HP+「LV*30」								
イベイジョン	1		常時	至近	自身		エネ	
効果: ドッチ値「ダイス*2+技能」固定								
灰色の脳細胞	1		常時	至近	自身	自動		
効果: 行動値+精神								
浄玻璃の鏡	1		リア	至近	自身	対決		
効果: RCドッチ								
異形への変貌	1		セット	至近	自身	自動	エネ	
効果: 侵蝕ダイスボーナス2倍								
爆裂重力	7		セット	至近	自身	自動	エネ	
効果: 攻撃力+「LV*20」 ダメ受けたら消失								
オリジン:レジェント	5		マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: 精神判定値+「LV*2」								
拡散する影	2		マイナー	至近	自身	自動	80	
効果: 判定ダイス-「精神以下」達成値+「減らしたダイス*LV」								
コンセ:ウロ	1		メジャー					
効果: @7								
無業の影	1		メジャー					
効果: 精神判定変更								
エクスペロージョン	8		メジャー	視界	範囲	対決		
効果: 攻撃力+8								

元祖抹茶のRB。抹茶を食す限り生き続けるぞ！あ、抹茶不足でリソース切れたりします。
 なお、優勝したら参加者と見学者、全員まとめて抹茶教の信者になってもらうぞ！！拒否権はない！！大丈夫だ！一年に一度、生存確認として抹茶を共に飲み食いし、己の幸を噛みしめる座禅をするだけじゃ！

レネキラの解除技能：情報（抹茶情報）
 唯我独尊でレネキラと爆裂重力同時バフして、刺さる方を持續してぶっ飛ばしていく（臨機応変）
 実は激重な過去設定↓
 昔、うちという茶の化身を生み出した主が頭を悩ませていた。
 人は今己にある幸を捨て、他者の幸を大きなものとし、奪い合う。なぜ権力が、武力が全てになってしまったのか。主は平和を訴え、人の前に立ったがそれをよく思わぬ輩が主を暗殺しやがった。我は義憤に駆られ、その暗殺者を食い殺した。
 それから主の意思を引き継ぎ、人から争いを無くす道を、平和な道を探した。数千年もな。
 しかし、たどり着いたのは「人は生まれ落ちたその時から善悪を持つ種族」だということだった。つまりはどうにも出来なかった。人がいるから幸が生まれる、しかし苦も争いも同時に合わせ持つ。うちは今までしてきたことが愚かに思えた。
 うちはこの世を終わらせようと考えた。人が全ての元凶ならば人を一度全て喰らうてやる。無に帰し、輪廻の輪を壊して争いの産まぬ人として新たにこの世を築いてもらうのだ。もうそれしか浮かばぬのだ。
 その為にはまず人手がいる。力がある。うちは自ら抹茶の神となり、教祖となり、抹茶教という宗教を利用してこの世を喰らう準備をする。信者らは抹茶を通して本来あるべき平和と世界を見出す。今己にある幸を噛みしめるのだ。うちがこの世を喰らうその時まで幸を謳歌せよ。
 どうせうちが喰らい、無に帰すのならば絆など必要ない。たとえ邪神になろうが、うちは望む世界の為に、人の為に、人を滅ぼそう。

